

9月 働くことへの理解を深める
中学生・高校生の職場体験



△若手職員にインタビューする美中生



△農地の評定を体験する美高生

美幌中学校と美幌高校の生徒が町内の事業所で職場体験を実施しました。町でも中学生4名と高校生2名を受け入れ、行政の仕事を経験。自分の将来と向き合う大切な時間になりました。

9月15～18日 今年で4回目の来町
札幌大学サッカー部が合宿



札幌大学サッカー部が美幌町で合宿を実施。4回目となった今年は部員20名が引率者とともに来町し、小学生の授業や、少年団・中学生を対象としたサッカークリニック等で町民と交流。9月16日の美幌小学校での授業では、部員たちが4年生～6年生の児童とサッカーで交流。児童たちは学生とすっかり打ち解けた様子で「来年も来てほしい!」と特別な授業を楽しんだ様子でした。

8月26日 優しい心や命の大切さを学ぶ
旭小学校人権教室



旭小学校の児童を対象とした人権教室が開催されました。1年生は小さな生き物たちにも命があることや思いやりの心を、2年生ははじめをなくすためにできることを人権擁護委員からそれぞれ学びました。最後は「人KEN まるくん」が登場し記念撮影を行ったほか、教室参加の記念品も贈られ、大喜びの様子でした。

9月6日 未来へつなぐ森づくり
恵和会と町による植樹式



社会医療法人恵和会と町との森林整備協定に基づく植樹式が行われ、カラマツ200本が日並町有林に植樹されました。

この取り組みは平成21年以降継続しており、今年で18回目。今回も92名が参加し、地球温暖化防止のために1本ずつ丁寧に植え込みされました。天候にも恵まれ、豊かな森に囲まれながら笑顔あふれる植樹となりました。

8月18日 自然災害発生時の迅速な電源供給が可能に
株式会社Jackery Japanと包括連携協定を締結

町は、近年多発する自然災害への対応を強化するため、ポータブル電源の提供をはじめとした再生可能エネルギー技術に強みを持つ、株式会社Jackery Japanと包括連携協定を締結しました。

江別市に次いで道内2番目となった今回の締結では、自然災害発生時のみならず、観光振興や環境教育の推進など、多方面にわたりポータブル電源を活用していくことが盛り込まれ、同社からポータブル電源4台とソーラーパネル1枚が寄贈されました。今後は多様な地域課題に対応するため、平时にポータブル電源を使用し、具体的な活用場面をフィードバックする実証実験を行いながら、災害発生時の電源供給が迅速に行えるよう、体制を強化していきます。



8月29日～30日 雄大な景色を見ながら贅沢なひと時

ガストロノミー美幌2026

町産食材の豊かさと魅力を、フルコースの料理とワインとのペアリングで楽しむ食のイベント「ガストロノミー美幌2026」が、美幌峠レストハウスで開催されました。

昨年に引き続いての開催となった今回は2日間で60名が参加。(一社)全日本司厨士協会北海道地方本部が監修し、実行委員会が手がけた料理は旬の食材がふんだんに使われ、見た目も華やか。当日は、食材生産者の皆様も参加され、食材に込めた思いが話されたほか、サプライズでデザートが登場。終盤には遠軽町を拠点に活動している「ホラネロ」の2人による生演奏も行われ、贅沢な雰囲気を一層盛り上げてくれました。

参加者は特別な空間で、夏の終わりを感ぜながら美食と美酒に酔いしれるひと時となりました。



町公式SNSでも
まちの話題を発信中!



YouTube
(ユーチューブ)

